

# 介護予防事業について

令和7年7月31日(木) 13:30～

古賀市 健康福祉部 健康介護課 健康づくり係

地域活動サポートセンターゆい

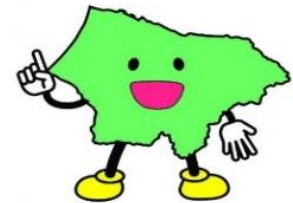
# 古賀市の概況

○総人口 59,182人

○65歳以上人口 17,046人

(再掲)

〔 65～74歳人口:7,839人  
75歳以上人口:9,207人 〕



○高齢化率:28.8%

(資料)住民基本台帳令和7年3月末

○その他

介護保険 要介護認定率:14.4%(R7年3月末):介護保険事業状況報告

※ 認定者数は、第1号被保険者のみを計上

国保特定健診受診率:38.1%(R5年度):法定報告

後期高齢者健診受診率:15.0%(R5年度):後期高齢者広域連合提供

日常生活圏域数:3圏域(3中学校区)

# 古賀市の概況

## 古賀市人口推移

|              | R2年    | R3年    | R4年    | R5年    | R6年    | R7年    |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 総人口          | 59,658 | 59,709 | 59,450 | 59,137 | 59,211 | 59,182 |
| 15歳未満人口      | 8,486  | 8,482  | 8,472  | 8,266  | 8,150  | 7,978  |
| 15歳以上65歳未満人口 | 35,417 | 35,109 | 34,609 | 34,361 | 34,287 | 34,158 |
| 65歳以上人口      | 15,755 | 16,118 | 16,369 | 16,510 | 16,774 | 17,046 |
| 65歳以上75歳未満人口 | 8,577  | 8,817  | 8,683  | 8,374  | 8,098  | 7,839  |
| 75歳以上人口      | 7,178  | 7,301  | 7,720  | 8,136  | 8,676  | 9,207  |
| 高齢化率         | 26.4%  | 27.0%  | 27.6%  | 27.9%  | 28.3%  | 28.8%  |

出典：住民基本台帳（各年3月末現在）

古賀市の人口は、年々減少。  
増加しているのは、75歳以上人口のみ。

# 目次

- 1.はじめに（古賀市地域活動サポートセンター「ゆい」について）
- 2.地域における介護予防について
- 3.介護予防に資する人材育成について
- 4.取組の課題について
- 5.その他（高齢者の保健事業と介護予防等の一体化事業）



# 1.はじめに

古賀市地域活動サポートセンター「ゆい」は介護予防の拠点の施設であり、介護保険を使用した施設である。

## 介護保険の事業

介護保険  
サービス

認定を受けた人向けのサービス  
施設の利用、福祉用具の貸与など

65歳以上のすべての人を対象とし、

**介護予防**を目的とした取り組み

## 2. 地域における介護予防について

### 外出促進事業

高齢者の社会参加を促し、閉じこもりの予防と介護予防・健康づくりを推進する。

#### ●高齢者外出促進事業

(令和6年度実績)

|      |                           |
|------|---------------------------|
| 応募期間 | 7月1日(月)～令和7年2月4日(火)       |
| 応募枚数 | 3,891枚 ※1人何枚でも応募可(662人応募) |

※令和7年度の応募期間については7月1日(火)～令和8年2月3日(火)までとし、広報こが・古賀市ホームページ等で周知済み。



#### ●こがんよか健康ポイントキャンペーン

(令和6年度実績)

|      |                    |
|------|--------------------|
| 期間   | 10月1日(火)～10月30日(木) |
| 応募者数 | 55人 ※うち当選者30人      |



※令和7年度の応募期間については10月1日(水)～11月30日(日)までとし、広報こが・古賀市ホームページ等で周知済み。

## 介護予防運動活動支援事業

### ●いきいきボールンピック大会 (令和6年度実績)

|             |                             |
|-------------|-----------------------------|
| 開催日時        | 予選:9月17日～10月25日<br>決勝:11月7日 |
| 参加チーム       | 100チーム                      |
| 参加人数(応援者含む) | 延べ693人                      |



※令和7年度 予選会:9月1日～10月24日 公民館など 決勝:11月6日 市民体育館

## 介護予防音楽活動支援事業

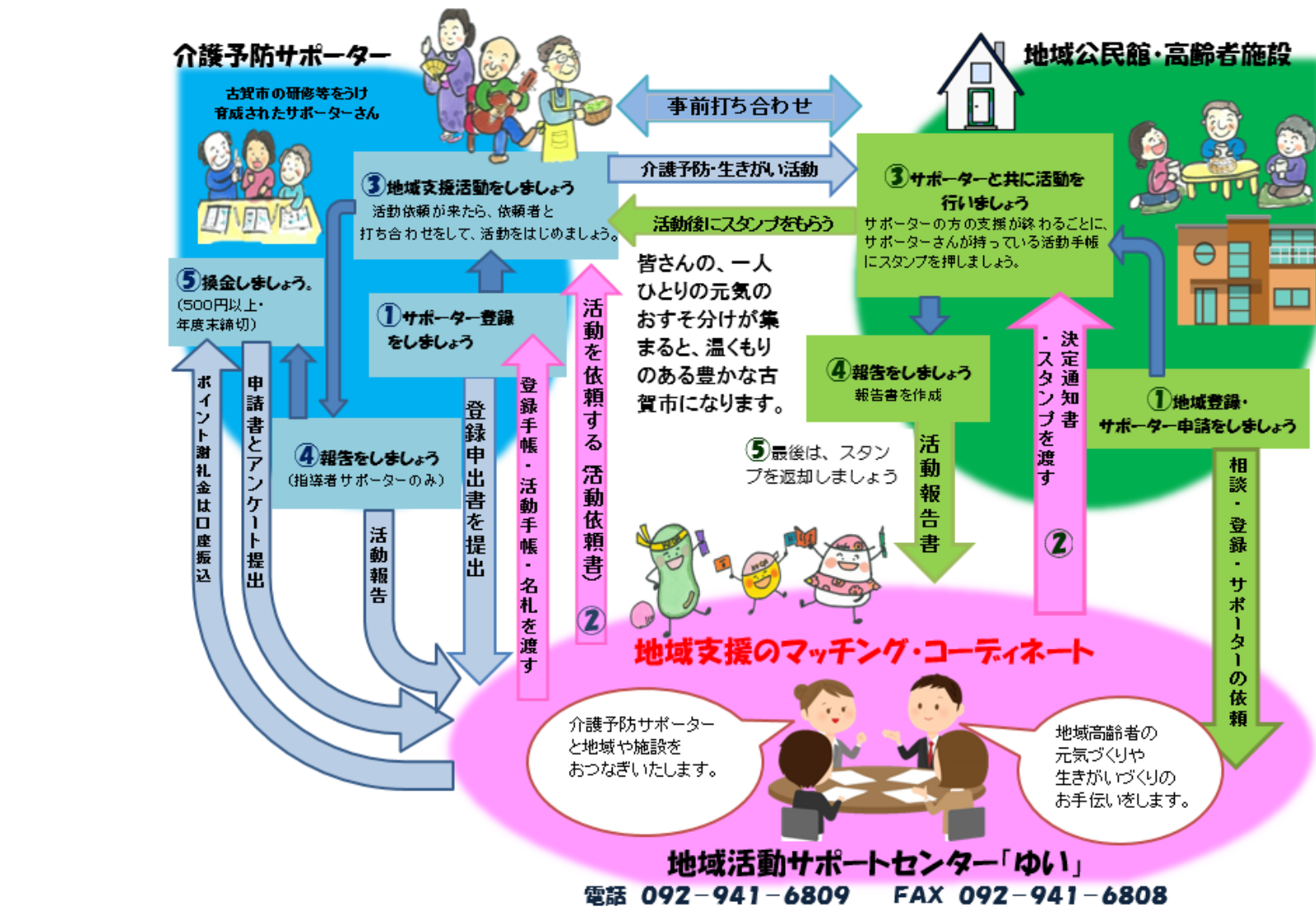
### ●活き生き音楽交流会 (令和6年度は介護予防音楽活動紹介として健康福祉まつりにて実施)

|             |       |
|-------------|-------|
| 開催日時        | 10月7日 |
| 参加団体        | 19団体  |
| 参加人数(見学者含む) | 209人  |



※令和7年度 12月5日 千鳥苑

●介護予防サポーター制度について



(参考) 地域支援のマッチング・コーディネートについて

●つどいの場等での定期的な支援

(令和6年度実績)

|           |                            |
|-----------|----------------------------|
| 地域・施設等登録数 | 40か所<br>内訳：地域：30か所、施設：10か所 |
|-----------|----------------------------|

※令和7年度：地域29か所・施設8か所  
合計 37か所登録済み。



●つどいの場等への出前講座等単発の支援

(令和6年度実績)

|         |         |
|---------|---------|
| 単発支援延べ数 | 延べ135か所 |
|---------|---------|



# シニアの元気づくりは時々<sup>つど</sup>集トレ毎日<sup>いえ</sup>家トレ

シニア時代を豊かに長く楽しむポイントは、時々、身近な場所で仲間と集い、楽しく活動し、家で毎日ちょこちょこトレーニングすることが大切です。

## つど 集トレ

楽しく集ってトレーニング



## いえ 家トレ

ちょこちょこ  
お家でトレーニング



### 集トレのメリット

- 仲間との楽しい活動と会話
- 仲間との情報共有
- 仲間との日常の助け合い
- 活動継続の意欲づけ
- 外出による気力、体力、認知力維持



5年後を決めるのはあなた  
さあ！  
できることから始めよう

### 家トレのメリット

- 毎日の気力、体力、認知力の維持向上
- 生活の生きがいと楽しみ
- 上達のよろこび
- 生活リズムづくり

●令和6年度に作成した家トレ・集トレで活用するための教材

①



②



①まめ活BOOK  
運動だけでなく、口腔機能、栄養、社会参加など介護予防に重要なポイントをまとめた冊子。

②音楽遊びで介護予防  
懐かしい歌の歌詞集。つどいの場で歌を歌うときに活用。

③集トレBOOK  
つどいの場で支援者が活用できるように、体操の進め方などの声掛けの仕方がのっている冊子。

③



④



④介護予防メッセージカード  
家トレの体操などが掲載されているカードの表面に、大学生からのメッセージが記入されているカード。シニアクラブ連合会を通して、イベントなどで配布。



### 3. 介護予防に資する人材育成について

#### 介護予防活動推進事業

地域のつどいの場や高齢者施設でボランティア活動を行う担い手を育成することにより、地域における介護予防活動を推進する。ボランティア活動を行うことにより、自身の生きがいづくりや、社会参加を通じた介護予防・健康の増進の促進を図る。

#### ●介護予防サポーター登録者数 (令和6年度実績)

|           |      |
|-----------|------|
| 介護予防サポーター | 247人 |
|-----------|------|

※令和7年度 登録者数:230 人 (7月1日現在)



#### ●介護予防サポーター活動回数及び活動時の延べ参加者数、活動したサポーターの延べ人数 (令和6年度実績)

|             |                                |
|-------------|--------------------------------|
| 活動回数        | 1,338回 (施設:463回、地域875回)        |
| 延べ参加者数      | 16,685人 (施設:5,066人、地域:11,619人) |
| 活動サポーター延べ人数 | 3,397人                         |

●新規人材育成  
(令和6年度実績)

| 講座名             | 期間・回数     | 受講人数 | 新規登録 |
|-----------------|-----------|------|------|
| 介護予防運動サポーター養成講座 | 6月～3月・10回 | 9人   | 3人   |
| 介護予防音楽サポーター養成講座 | 6月～3月・12回 | 9人   | 1人   |
| ゆいサポビギナー教室      | 6月～3月・8講座 | 30人  | 20人  |

※令和7年度

- ・運動サポーター・音楽サポーターの導入講座として「ちょい足し講座」を実施。  
計3回、延べ43人受講。うち数人は運動・音楽サポーターとしての活動意志があり、ステップアップ研修に案内。
- ・ゆいサポビギナー教室 13教室（麻雀が新規で開催）、全教室で138人（重複で申し込みされている方含む）の申し込みあり。  
うち、定員の関係で抽選になった教室（麻雀）や辞退者もいたため、実際の参加者は57人。

- 既存のサポーターへの活動のフォローアップ
  - ・運動・音楽サポーター向けフォローアップ研修
  - ・ゆいサポサポーター教室（14教室実施中）
- ※令和7年度も引き続き実施



## 4. 取組の課題について

### 地域における介護予防について

- 外出促進事業においてはおでかけシール配布対象イベントを精査する必要がある。対象イベントによっては毎日実施しているところもあれば（ラジオ体操等）、不定期で実施しているイベントがあるため、地域によってシールをもらえる枚数が異なる。（＝一人当たりの応募枚数に偏りがでてしまい、賞品当選の確率が低くなる）
- 昨年度のサポーター登録者数に対し、登録はしているものの実際に施設や地域に出向いて支援できていない方が概ね80名近くいたことから、施設・地域とのマッチングが上手くできていないことが課題である。まずは、施設等にはゆいの出前講座を体験いただき、定期的な支援に繋げたい。

### 介護予防に資する人材育成について

- 「ゆい」の事業の趣旨を理解せずにゆいさぽ教室に参加している人がいる。サポーターの活用方法の周知や、サポーター登録をしているものの活動していないサポーターに対しては、活動に関する意思確認を行う必要がある。
- 地域で活動するサポーターの中で、参加者よりもサポーターの数が多く、サポーターが参加者化しているような地域もあるため、活動内容を精査し、どの程度の活動であればポイントを付与するのか整理する必要がある。
- 昨今、就労している高齢者が増加しているため、担い手の更なる高齢化が進み、また次世代のサポーター獲得が困難な状況である。

# (参考) ゆいさぽ教室一覧

|             |             |
|-------------|-------------|
| ウクレレ        | 暮らしの中で楽しむ花  |
| 脳トレレクリエーション | 昭和歌声喫茶(ギター) |
| 鍵盤ハーモニカ     | 群読          |
| 太極拳         | シャンテ        |
| ハーモニカ       | イラスト        |
| 詩吟          | 博多にわか       |
| 季節の絵手紙      | 花・野菜づくり     |

※令和7年度より介護予防麻雀がビギナー教室として開催。

# その他（高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業）

## 高齢者の健康状態の特性について

- 高血圧
- 心疾患
- 脳血管疾患
- 糖尿病
- 慢性腎疾患(CKD)
- 呼吸器疾患
- 悪性腫瘍
- 骨粗鬆症
- 変形性関節症等、生活習慣や加齢に伴う疾患

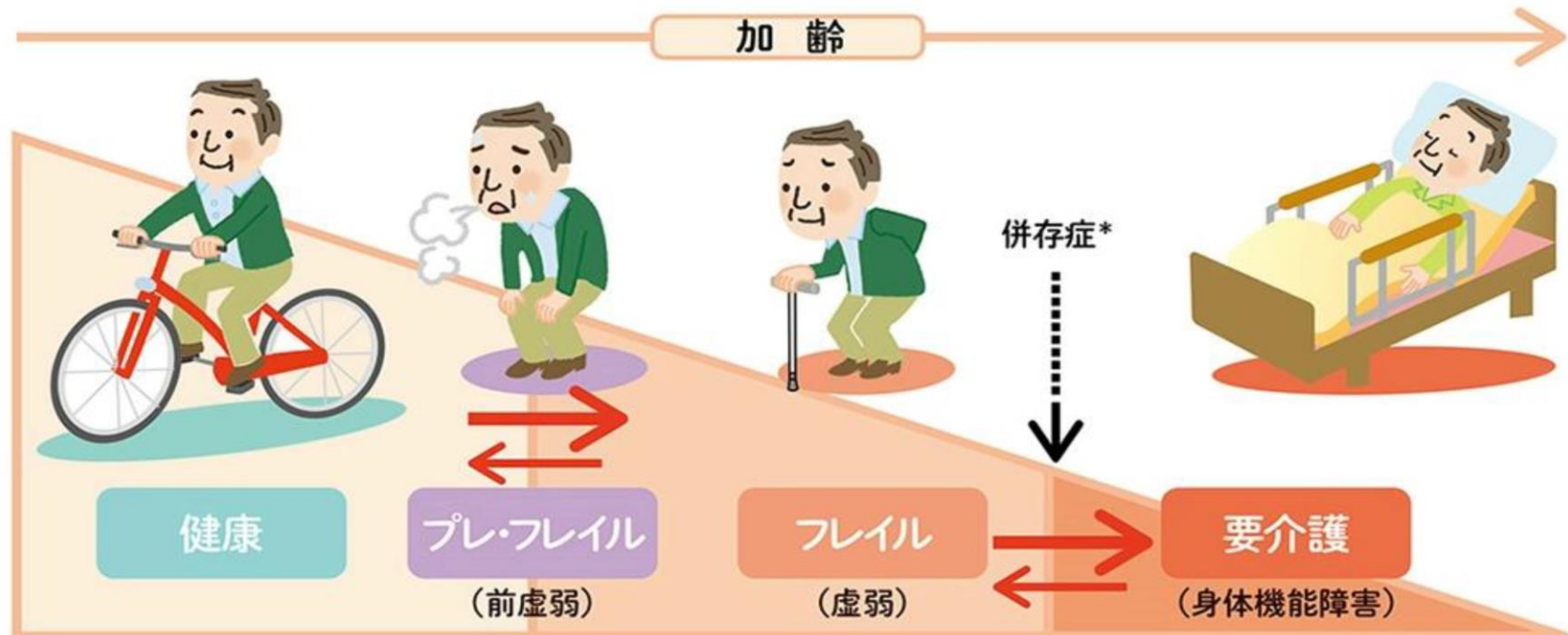
- 認知機能障害
- めまい
- 摂食・嚥下障害
- 視力障害
- うつ
- 貧血
- 難聴
- せん妄
- 易感染性
- 体重減少
- サルコペニア(筋量低下)

慢性疾病を併存

相互に影響

老年症候群

加 齢



# 高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業概要

## 【目的】

人生100年時代を見据え、高齢者ができる限り長く自立した日常生活を送ることができるよう、**生活習慣病等の発症や重症化の予防**及び**心身機能の低下**を防止するための支援を行うことで、自分らしく健やかに安心して過ごせる社会の構築をめざす。

## 【根拠法令】

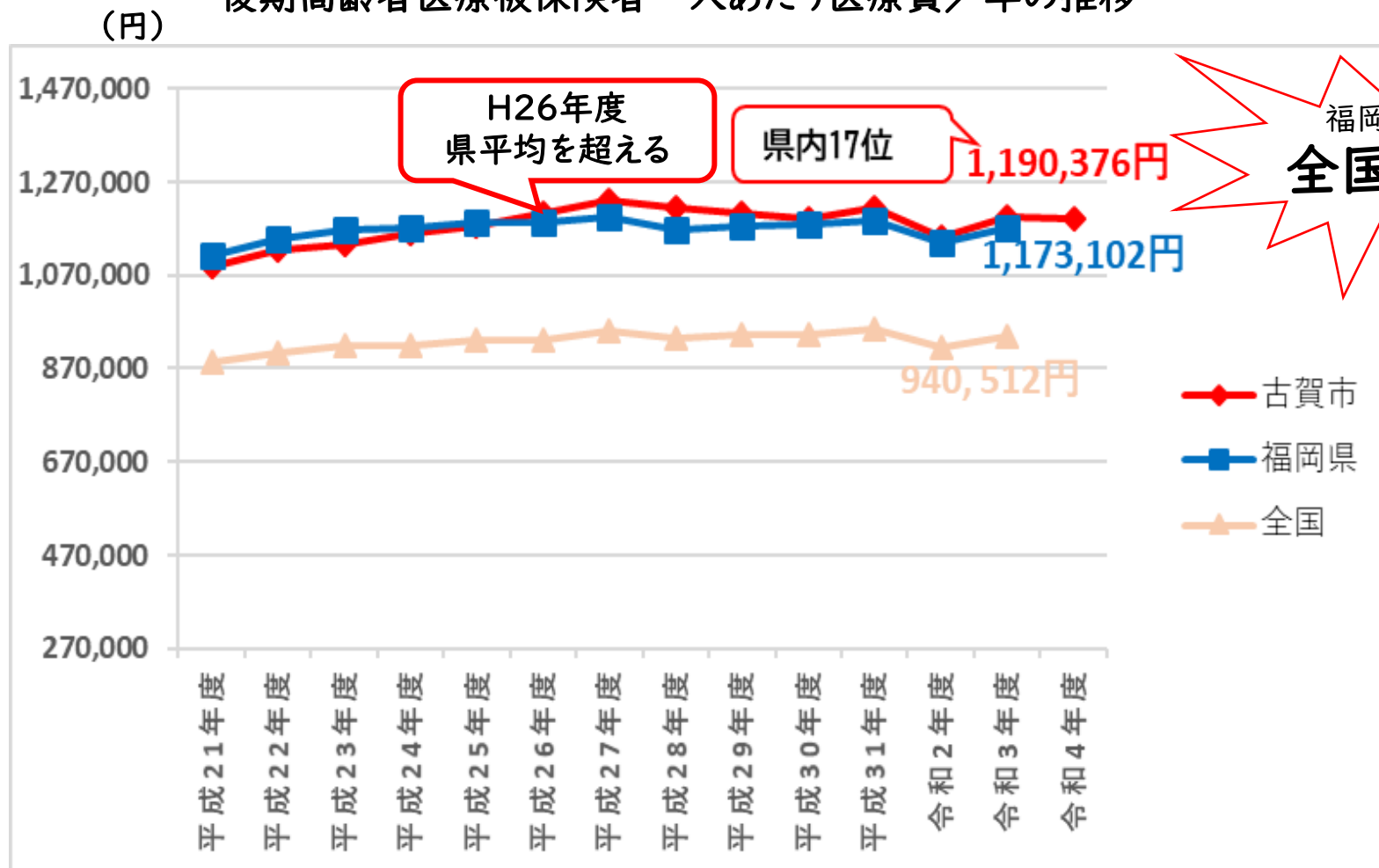
高齢者の医療の確保に関する法律（昭和57年法律第80号）の第125条の2第1項の規定及び福岡県後期高齢者医療広域連合の広域計画、基本方針に基づき、福岡県後期高齢者医療広域連合からの委託を受け実施するものである。

## 【実施事業】

- (1) 事業の企画・調整等
- (2) KDBシステムを活用した地域の健康課題の分析・対象者の把握
- (3) 医療関係団体等との連絡調整
- (4) 高齢者に対する支援
  - ア 高齢者に対する個別的支援（ハイリスクアプローチ）
  - イ 通いの場等への積極的な関与等（ポピュレーションアプローチ）

# 『古賀市の医療費』

後期高齢者医療被保険者一人あたり医療費／年の推移



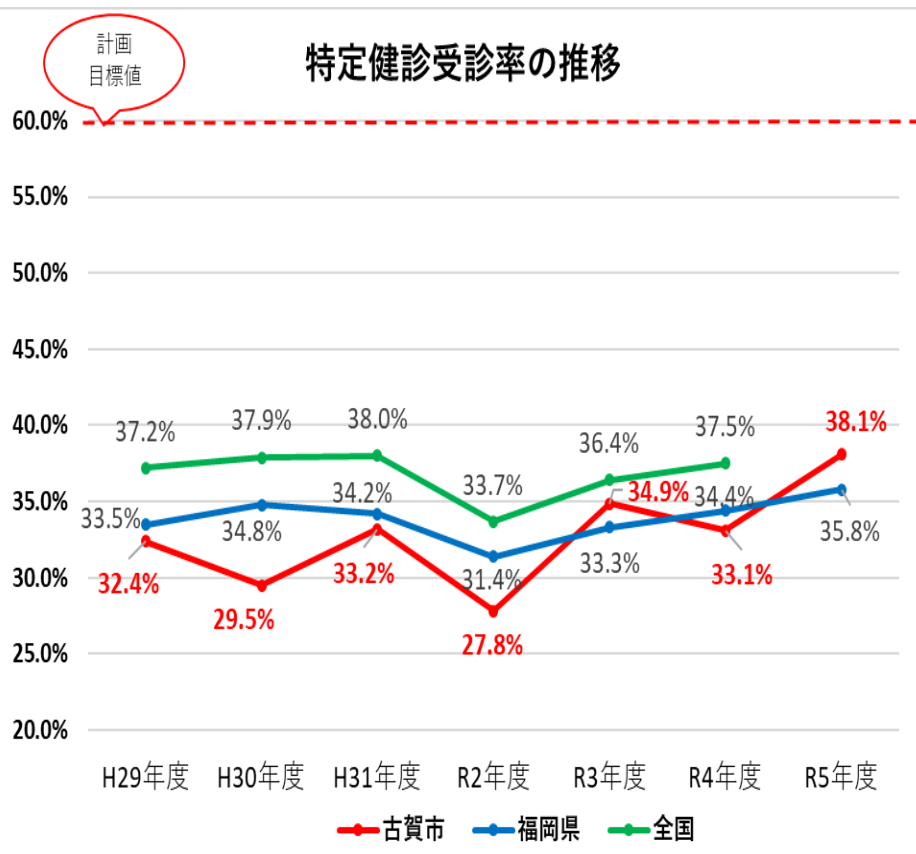
1人あたり後期高齢者医療費は**県内17位**

古賀市では、**慢性腎臓病(人工透析)**による医療費の割合が最も高い

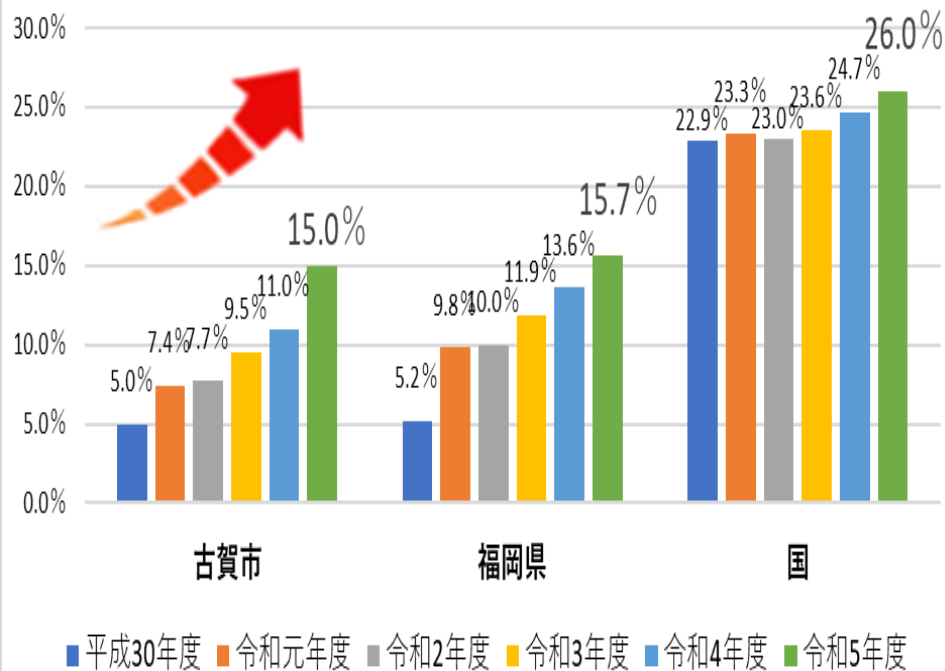
# 『古賀市の健康診断』

## 古賀市の特定健診、後期高齢者受診率は徐々に増加

特定健診受診率の推移



後期高齢者健康診査受診率の推移



【出典】法定報告

出典 福岡県・古賀市：後期高齢者広域連合データ（毎年度5～4月累計）  
 全国：KDBシステム 健診・医療・介護データからみる地域の課題（毎年度4～3月累計）

## 【令和7年度】

### 古賀市高齢者の保健事業と介護予防等の一体化事業について

#### ①個別支援（ハイリスクアプローチ）

##### 【重症化予防（糖尿病性腎症）】

- ・後期高齢者健康診査における血糖値のコントロール不良者
- ・糖尿病治療中断者

##### 【重症化予防（その他の生活習慣病）】

- ・後期高齢者健康診査における血圧のコントロール不良者
- ・高血圧治療中断者

##### 【健康状態不明者対策】 対象年齢：75歳～95歳

- ・医療機関受診も健診も受診していない者



Kenコーン



ねおっぴ

（古賀市けんしん応援マスコット）

#### ②通いの場等を活用した保健事業（ポピュレーションアプローチ）

##### 【健康教育・健康相談】

##### 【フレイル状態の把握】

##### 【低栄養・フレイル予防教室】

地域活動サポートセンター「ゆい」における  
人材育成や地域活動と連携し実施！

古賀市のデータ分析による健康課題を踏まえて事業を実施